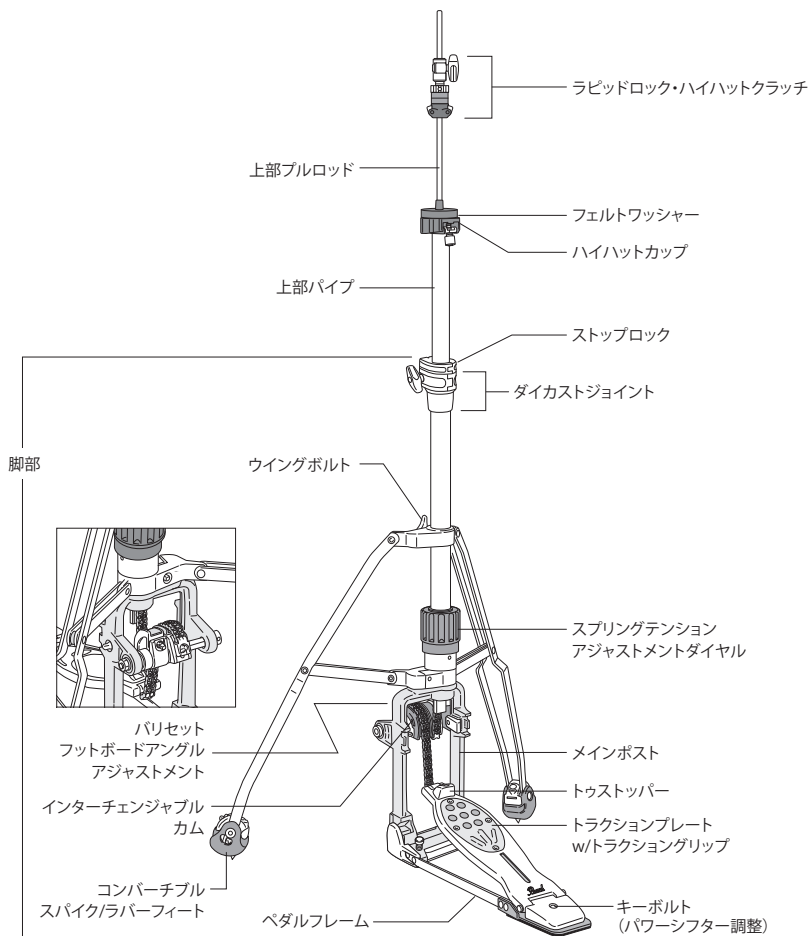


PEARL HI-HAT STAND

H-2050

取扱説明書

この度は、H-2050ハイハットスタンドをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひご覧下さい。



脚部の組み立て

ペダルフレームを持ちながらメインポスト脇のキーボルトをゆるめます (図1-A)。

ゆるめることでフックが開きますので、ペダルフレームを矢印の方向に引っ張りドッキングステーションから離してください (図1-B)。

ペダルフレームをはずしたら、ノイズ防止のためキーボルトを締めてフックを閉じてください。

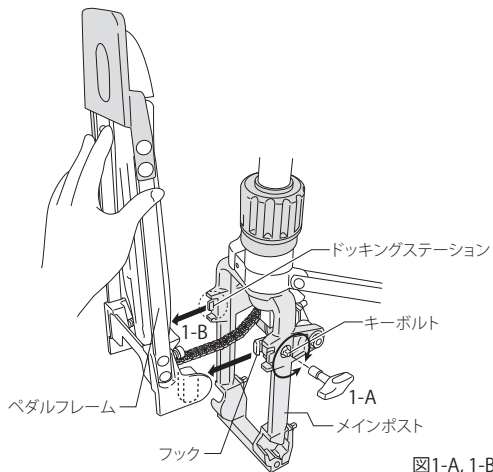


図1-A, 1-B

メインポスト下部の両側にあるキーボルトを十分にゆるめ、クランプを開きます (図2-A)。

ペダルフレーム先端のストラットエンドを開いたクランプに約45°の角度で奥まで差し込みます (図2-B)。

ストラットエンドを軸にしてフットボードのかかと部分をゆくりと下ろします (図2-C)。

両側のキーボルトをしっかり締めてクランプを閉じ、ストラットエンドを固定してください。

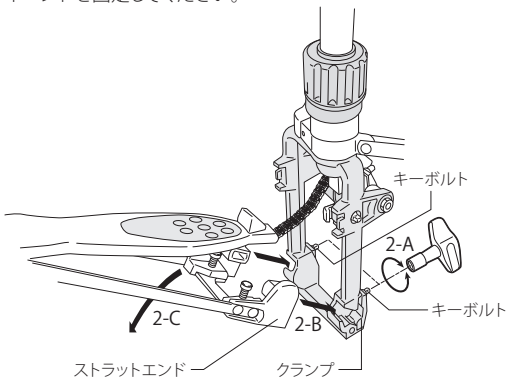


図2-A, 2-B, 2-C

スタンドを立てて片方の手で支えながら、ウイングボルトをゆるめてレッグを開きます。スタンド本体が垂直に立っていることを確認したら、ウイングボルトを締めてレッグを固定してください (図3)。

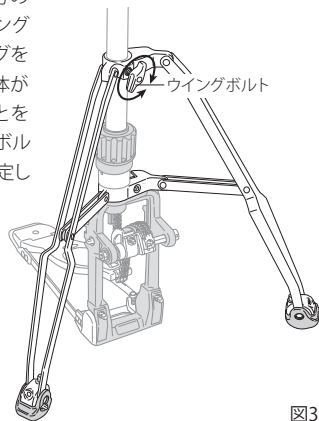


図3

スタンド本体は、ペダルフレームのかかと部分が接地した状態でメインポストと垂直になるようにセッティングしてください (図4)。

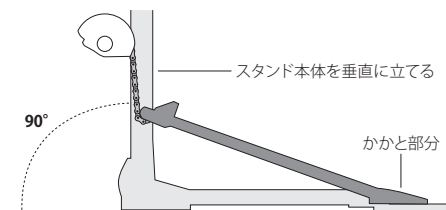


図4

注意

スタンドが傾いた状態での演奏は、安定を保てず危険です。

H-2050のレッグはセッティングに応じて回転することができます。調整の際はウイングボルトとキーボルト両方をゆるめて行い、調整が終わりましたら両方もしっかりと締めてください (図5)。

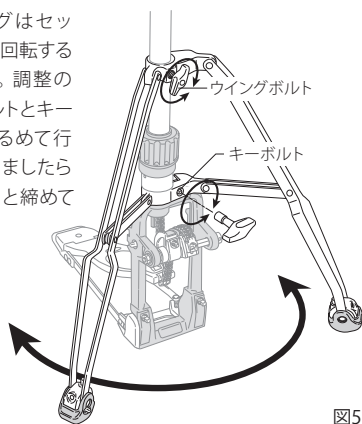


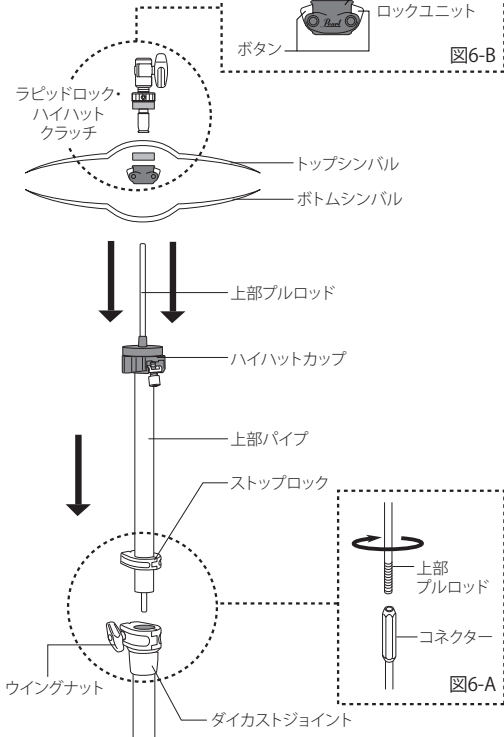
図5

注意

レッグを回転させる際は、ポジションによっては不安定になり倒れる可能性がありますのでご注意ください。

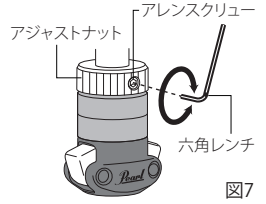
上部の組み立て

脚部ダイカストジョイント内にあるコネクターに上部ブルロッドをねじ込んで接続します(図6)。次に上部パイプをダイカストジョイントに差し込み、高さを決めたらウイングナットを締めて固定します。ストップロックはキーボルトをゆるめてダイカストジョイントまで位置をずらし、位置が確定したらキーボルトをしっかりと締めなおしてください。ボトムシンバルを上部ブルロッドに差し込み、ハイハットカップにのせます。トップシンバルを取り付けるには、まずラピッドロックユニットの二つのボタンを押して本体から取り外します。二枚のフェルトワッシャーの間にトップシンバルをはさみ、ラピッドロックユニットを差し込みます。この時ラピッドロックユニットのボタンがカチッと鳴るまでしっかりと押し込まれていることをご確認ください(図6-A)。シンバルのしめ具合を調整するにはアジャストナットを回してください。トップシンバルを組み込んだハイハットクラッチをブルロッドに差し込んでフットボードを踏み、上下シンバルに適当な間隔ができる位置で、ハイハットクラッチのウイングナットをしめて固定してください。



アジャストナットの調整

アジャストナットは工場出荷時に演奏中緩まない程度の固さに調整されています。アジャストナットを完全に固定したい場合は付属の六角レンチでアレンスクリューをしっかりとしめてください(図7)。アレンスクリューのしめ具合を工場出荷の状態に戻すには、アレンスクリューがきつってしまった状態から90° 緩めてください。

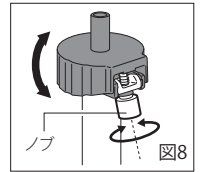


注意

アジャストナットのアレンスクリューのしめ過ぎは破損の原因となりますのでご注意ください。

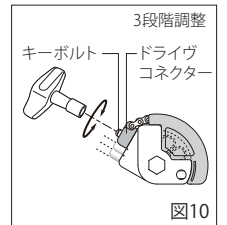
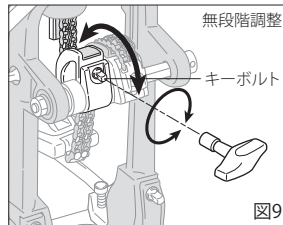
ハイハットカップ角度調整

ノブを回してカップを傾けることで、シンバル間の空気のをこもりを解消します(図8)。



フットボードアングルの調整

フットボードの角度調整には、幅広く自由に設定できるバリセットシステムを採用しています。左側のホイールに組み込まれたキーボルトをゆるめると無段階に調整ができます(図1-A)。また、右側ホイールのドライブコネクターのキーボルトをゆるめてスライドすれば3段階の調整が可能です(図9)。調整が終わりましたらキーボルトをしっかりと締めてください。



注意

フットボードアングルの極端に高く、あるいは低く設定すると、インターチェンジャブルカムの交換ボタンが引っ掛かってしまう場合があります。その際は、フットボードアングルのややもどしてから、カム交換を行なってください。

パワーシフターの調整

フットボードを前後にスライドさせることで、3つの異なるアクションを設定することができるシステムです。工場出荷時はBの位置で設定されています。A、Cの位置に変えるにはヒールプレートのキーボルトをゆるめ、お好みの位置にフットボードをずらしてください。設定が決まりましたらキーボルトをしっかりと締めなおしてください（図11）。

- A: 踏み込んだパワーがダイレクトに伝わる、踏みこたえのあるポジション。
 B: 素直なアクションが得られるノーマルポジション。
 C: スピーディーなフットワークに対応するポジション。

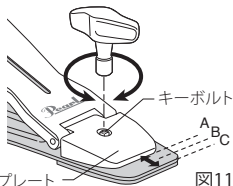


図11

スプリングのテンション調整

スプリングのテンションはダイヤルを回すことで調整できます。段階的に調整することでテンションのゆるみが防止される機構になっています（図12）。

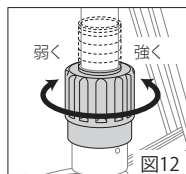


図12

インターチェンジャブルカム

出荷時に装備されたブラックカムと付属の3つのカムの計4タイプのカムを自由に付け替えることによって、それぞれ異なるアクションのフィールが得られるシステムです。カムを付け替えるには、ホイールのボタンを押しながらカムを矢印の方向に引き抜きます（図13）。新たに取り付けるカムはボタンと離れた状態でまっすぐはめ込んでください。その際、カムが正しく固定されたことを必ず確認してください（図14）。

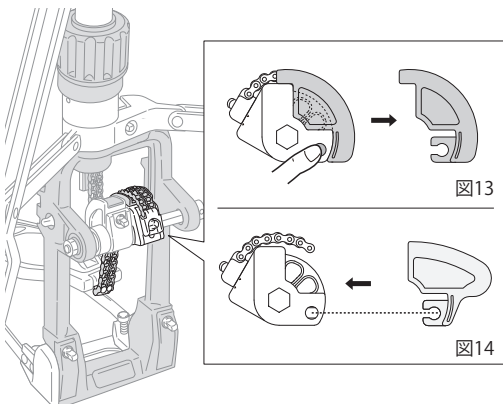


図13

図14

注意

- カムを取り付ける際、無理に押し込むと破損します。正しく取り付ければぴったりと密着してホイールに収まりますので、カムの向きを調整してください。
- カムを取り外したまま使用しないでください。故障の原因となります。

付属品				オプション	
ブラック	ホワイト	ブルー	レッド	パープル	イエロー

ブラック : パールのオリジナルサイズの真円カムで、パワーがあり、素直でくせのないアクション。

ホワイト : ブラックカムをひとまわり大きくした真円のカムで、全体的に軽めのアクション。

ブルー : 回転軸が中心からずれたカム（偏芯カム）で、踏み始めは軽く徐々にスピードが加速していくアクション。

レッド : 回転軸が中心からずれたカム（偏芯カム）で、細かいフットワークに応えるトラディショナルなアクション。

パープル : レッドカムのスピードと、ブルーカムのパワーをバランス良く取り入れたアクション。（オプション）

イエロー : ダイレクトドライブの独特な感触を再現した、高速プレイを追及するドラマーに最適なアクション。（オプション）

トラクションプレート / トラクショングリップの設定

フットボードに埋め込まれたトラクショングリップは、個別にとりはずすことでフットボード表面の滑り具合を微調整することができます。トラクショングリップをはずすには、付属の六角レンチでトラクションプレートのネジをはずしてください。お好みのセッティングになりましたらトラクションプレートを戻して、ネジをしっかりと締めなおしてください（図15）。また、トラクションプレートは上下逆に取り付けることもできます（図16）。

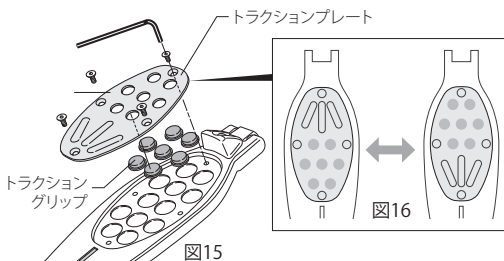


図15

図16

注意

トラクションプレートの4本のネジは必ず均等に締めてください。片締めをして無理にネジを締める、プレート、ネジ、さらにはフットボードを破損するおそれがあります。また、4本のネジは常に点検し、ゆるんだら六角レンチで締めてください。トラクションプレートを取りはずした状態のままでは絶対に使用しないでください。ケガをする恐れがあります。

コンバーチブルスパイク / ラバーフィート (プッシュボタン装備)

H-2050はスタンド本体のスリップ防止のためのスパイクを装備しています。スパイクを使用する際は上部のプッシュボタンAを押してください(図17)。横のプッシュボタンBを押すとスパイクはもとに戻ります(図18)。

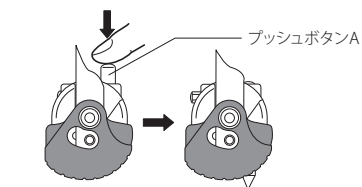


図17

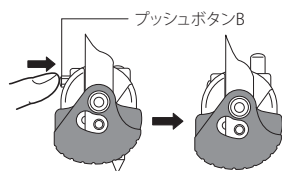


図18

ラバーチップに表示されている"HH"はハイハットスタンドを表わしています。工場出荷時にはラバーチップがこのポジションに設定されていますが、機能を十分に発揮するために、この設定を変更しないようご注意ください(図19)。



図19

注意

スパイクの先端は鋭いため、手や体に触れると大変危険です。スパイクを露出させてご使用の際は十分に注意してください。また、スパイクを使う際は、床を傷つけないよう、じゅうたん、カーペットなどの敷物を床に敷いてからお使いください。

ペダルフレームの収納

収納、運搬の際にはペダルフレームをメインポストのドッキングステーションに取り付けてください。まず、メインポスト下部の両側にあるキーボルトを十分にゆるめクランプを開き、ペダルフレームをメインポストからはずします。次にメインポスト脇のキーボルトをゆるめフックを開きます。ペダルフレーム先端のストラットエンドにある四角形の穴と、ドッキングステーションの四角形の突起の位置を合わせて、ペダルフレームを差し込みます。この時、ペダルフレームを平行に差し込むように注意してください(図20)。

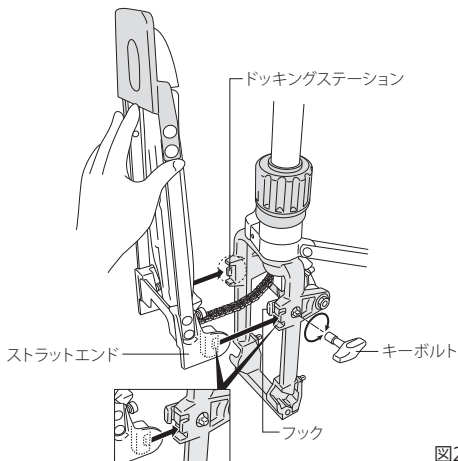


図20

ストラットエンドをドッキングステーションの奥まで差し込んだら、メインポスト脇のキーボルトを締めフックを固定します。この時、フック先端のツメがストラットエンドにしっかりと収まっていることをご確認ください(図21)。

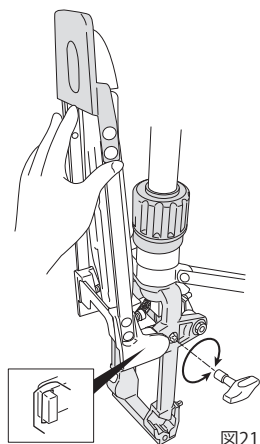


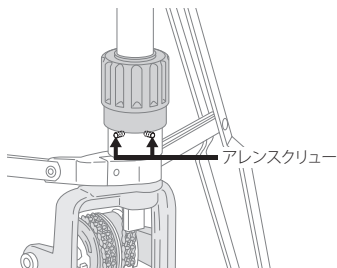
図21

注意

フックのツメが収まっていない状態で、無理にキーボルトを締めないでください。破損の恐れがあります。不慮の脱落を防ぐためペダルフレームには手を添えてください。

パイプ固定用のアレンスクリュー

図のように、脚部のパイプはアレンスクリューで固定されていますが、演奏中の振動でゆるむおそれがありますので、必ず点検し、付属の六角レンチでしっかりと締めてください。



▲ 注意

- ◆アレンスクリューがゆるんだ場合には、付属の六角レンチで締め直して下さい。また、チェーン、カムローラー、フットボードヒンジなどの可動部分には時おり注油(グリス等)して下さい。
- ◆ベアリングへの注油に、粘性の低い潤滑油のご使用はお控えください。
- ◆フットボードヒール裏面のゴムは、ほこりなどが付着するとグリップ力が落ちてしまいます。その場合は湿らせた布等で拭き取ってください。

<その他の注意>

各部の組み立てについて

セッティングに慣れていないうちは、脚部全体を床に寝かし、メインポストにペダルフレームを差し込む方法もお試ください。

Pearl

パール楽器製造株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1 電話：047-484-9111 (代表)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田593-1 電話：047-450-1090 (テクニカルサポート)

<http://www.pearlgakki.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in China

-1610-